

### 〔セットブレイク・ルール〕

- 1) 各セットとも、セットが終了したら、スコアに関係なくプレーヤーはいったんベンチへ引き上げ、2分間の休憩を取る。休憩後、前のセットが偶数ゲーム(例えば6-4)で終わっていたら元のエンドへ戻り、奇数ゲーム(例えば6-3)で終わっていたらエンドを交代して次のセットを開始する。  
\* 1分30秒を経過したとき、審判が「タイム」とアナウンスする。
- 2) 各セットとも、第1ゲーム終了後は、休憩(1分30秒)せず、すぐエンドを交代して第2ゲームを始める。休憩は、第3ゲーム終了後から取れる(1分30秒)。  
\* 第1ゲーム終了後のエンド交代は、タイブレイク中のエンド交代と同じ要領である。ベンチへ座ることは許されない。  
\* また、この第1ゲーム後の休憩なしは、8ゲームプロセット、1セットマッチなどにも適用して下さい。

### 今季決勝大会の決勝戦において採用する 「ノー・アドバンテージスコアリング方式」

1. 各ゲームとも4ポイントを取ったプレーヤーがそのゲームの勝者となる。3ポイントオールになったときは、次のポイントがそのゲームを決定する。双方のプレーヤーともゲームポイントとなる。その第7ポイントでは、レシーバーに、左右どちらのサイドでレシーブするかを選択権がある。
2. 3ポイントオールのときは「40オール (Forty All)」とアナウンスする。
3. タイブレイクは12ポイント制である。
4. 40オールのあと、誤ってノー・アドバンテージスコアリング方式で行わなかった場合は、
  - (a) ポイントがどこまで進んだかにかかわらず、40オールのあとの最初のポイント(そのゲームの第7ポイント)の勝者がそのゲームの勝者となる。
  - (b) 40オールのあとの最初のポイントの勝者が不明のときは、誤りに気がついたときを40オールとして改めてノー・アドバンテージスコアリング方式を採用する。
  - (c) 次のゲームに入ってしまったときは、誤ったままで終わってしまった結果を有効とする。

### ラウンドロビン(総当たりリーグ戦)方式における順位決定方法

チームの勝率高い方を上位とする。(例: 3勝、2勝1敗、1勝2敗、3敗)

A) 2チーム(者)が同率になった場合は、互いの対戦結果(直接対決)の勝者。

B) 3チーム(者)が同率になった場合は、以下の要素で順位をつける。

- ① 合計の勝利試合数の多いチームが上位
- ② ①が同じ場合、全試合での取得セット率(%)
- ③ ②が同じ場合、全試合での取得ゲーム率(%)

C) ノーショウ、または失格者の取得ゲーム数はすべて0とする。(例: 3セットマッチなら 60 60)

D) けが等によるリタイアの場合は、勝者はリタイアの後、残りのゲームをすべて勝ったとしてゲーム数を記録し、敗者はリタイアするまでに取得したゲーム数を記録する。(A対Bの3セットマッチで、Bが63 22のとき、けがでリタイアした場合、勝者はAでスコアは、36 62 60 と記録する。)